

国内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました！

- ウイルスに感染した渡り鳥が国内に広く飛来しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況（R5年シーズン）

★ 家きん飼養農場（1県1事例）

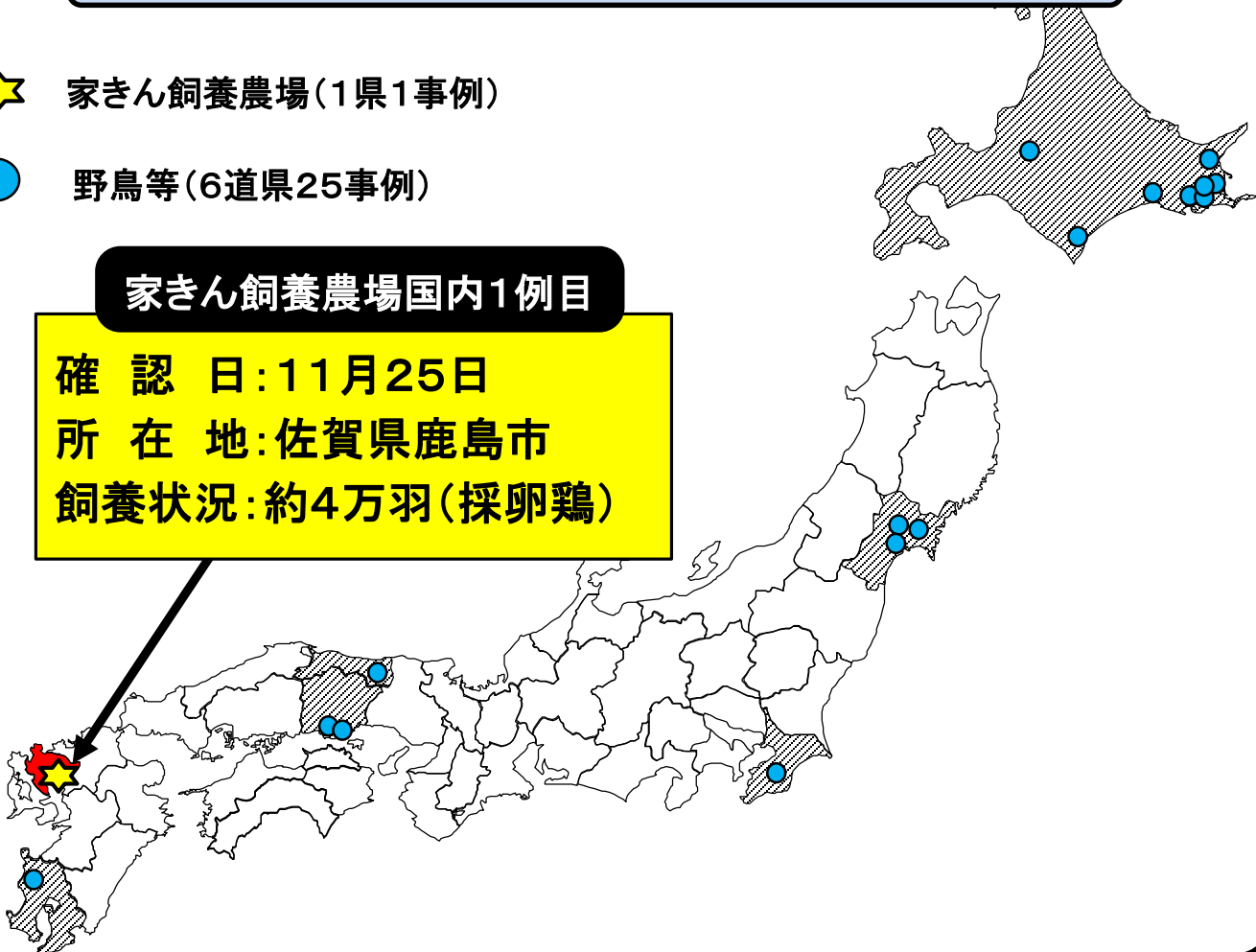
● 野鳥等（6道県25事例）

家きん飼養農場国内1例目

確認日：11月25日

所在地：佐賀県鹿島市

飼養状況：約4万羽（採卵鶏）



- ① 鶏舎周囲への消石灰の散布
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両等の消毒
- ④ 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- ⑤ 家きん舎に立ち入る者の手指等の消毒
- ⑥ ねずみ及び害虫の駆除
- ⑦ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕



死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL：0771-42-3308（夜間・休日も転送機能で連絡可能）